公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

「令和８年熊本地震」が発生しました。
被災された皆様には、お見舞い申し上げます。

また、災害派遣で活動中の隊員の皆さま
任務完遂をお祈りいたします。

隊友

令和８年８月15日
第868号　毎月１回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03（5362）4871・FAX4876
購読料　１カ月 120 円（税込み送料別）、
１カ年 1,700 円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

隊友 web 版はホームページ右側の WEB 隊友紙から

―栃木県隊友会が激励―

ジブチ派遣部隊を激励・見送り

激励品贈呈時の集合写真

見送りを受け出発する支援隊員

出国行事に整列する支援隊員

7月24日、陸上自衛隊中央即応連隊（連隊長・後藤仁志1陸佐）を基幹とする各部隊、海上自衛隊及び航空自衛隊等各部隊によって編成される第26次派遣海賊対処行動支援隊の第2派出国行事が、派遣隊員のご家族、栃木県隊友会などの防衛協力団体、中即連隊隊員等立会のもと、宇都宮駐屯地で実施された。正門通りでの見送りでは、駐屯地隊員総出での盛大な見送りとなり、派遣隊員は、元気に出国の途についた。

栃木県隊友会（会長・狩野康夫）は、出国前の8日、会長と安藤恒夫副会長兼経理部長、増田副会長兼広報部長が宇都宮駐屯地に所在する中即連隊を訪問し、連隊長及び副連隊長、第26次派遣海賊対処行動支援隊警衛隊長、派遣隊班長等と懇談し、狩野会長から警衛隊長に激励品を手渡した。

懇談の中で、連隊長から「ジブチは世界一暑い国で最高気温71・5℃、真夏は50℃以上に達する」との紹介を受け、警衛隊長は「戴いたポカリスエットを飲んで任務を完遂します」と感謝を込めて力強く表明された。会長は、「今回、イラン情勢の影響が心配される中でのジブチ派遣となり、異国の地で、酷暑の厳しい環境の中での約6カ月間に亘る任務遂行となるが、是非、困難を克服し派遣任務を完遂して、無事の帰国をしていただきたい」と全員のご健勝と無事の帰国を願い、激励した。

帰国は、令和9年2月頃になる予定である。

（栃木県隊友会広報部長・増田孝久）

退職自衛隊員・家族らを支援する議員連盟が発足

設立総会で挨拶する岩崎理事長

党派の垣根を超えた「自衛隊員・退職自衛隊員・家族を支援する議員連盟」が発足し、7月16日、国会内で設立総会が開催された。

本議員連盟では、現役自衛隊員、退職自衛隊員、そしてご家族までを切れ目なく支えることを目的に発足し、「退職自衛隊員・家族支援庁」の創設や処遇の改善について議論される。衆参両院議員約60人が出席し、中谷元前防衛大臣（隊友会顧問）が会長に、鹿嶋祐介議員（隊友会相談役）が事務局長に就いた。

設立総会には、岩崎理事長のほか、増田好平自衛隊家族会会長、島田和久全国防衛協会連合会理事長も出席し、それぞれが挨拶し意見を述べた。

宮崎防衛副大臣と意見交換会

意見交換時の集合写真

意見交換の様子（防衛省 HP から）

沖縄県隊友会（会長・古堅悟）は、6月20日、沖縄県自衛隊家族会とともに宮崎政久防衛副大臣との意見交換を実施した。

意見交換では、沖縄県の現状等について忌憚のない活発な議論が実施された。南西防衛強化に伴う現状を前に、県隊友会として国民と自衛隊とのかけ橋としての重責を感じる意見交換会でした。

（沖縄県隊友会事務局長・清敏洋）

防衛省発令

制服高級幹部の異動

補職

陸上自衛隊

▽陸上総隊司令官（中方総監）陸将・遠藤充▽中方総監（統幕副長）陸将・松永浩二▽統幕副長（8師団長）陸将・白川訓通▽陸上総隊幕僚長（12旅団長）陸将・柳裕樹▽2師団長（陸上総隊幕僚長）陸将・上野和士▽8師団長（陸幕運支・訓練部長）陸将・浅賀政宏▽10師団長（西方幕僚長兼健軍駐司令）陸将・佐野浩司▽富校長兼富士駐司令（10師団長）陸将・垂水達雄▽補給本部長兼十条駐司令（補本副本部長）陸将・大野真▽統幕防衛計画部副部長（シ通・サイバー校長兼久里浜駐司令）陸将補・青木圭▽陸幕運支・訓練部長（1空挺団長兼習志野駐司令）陸将補・石原由尊▽陸幕監察官（1施団長兼古河駐司令）陸将補・弥頭親善▽東方幕僚長兼朝霞駐司令（陸監察官）陸将補・満井英昭▽東方幕僚副長（統幕防衛計画部副部長）陸将補・伊藤優一郎▽中方幕僚長兼伊丹駐司令（高射校長兼下志津駐司令）陸将補・久保勝裕▽中方幕僚副長（1師団幕僚長）陸将補・村上輝高▽西方幕僚長兼健軍駐司令（統合作戦司令部作戦部長）陸将補・北島一▽6師団副師団長兼神町駐司令（西方混団長兼久留米駐司令）陸将補・山田篤▽12旅団長（中方幕僚長兼伊丹駐司令）陸将補・相園和宏▽1空挺団長兼習志野駐司令（東方幕僚副長）陸将補・濱田剛▽1施団長兼古河駐司令（教訓研総合企画課長）陸将補・奥和昌▽高射校長兼下志津駐司令（6師団副師団長兼神町駐司令）陸将補・貴島康二▽シ通・サイバー校長兼久里浜駐司令（陸上総隊後運部長）陸将補・奈良一志▽補本副本部長（東方幕僚長兼朝霞駐司令）陸将補・坂田裕樹▽体校長（中方幕僚副長）陸将補・槁本賦▽防衛装備庁調達総括官（東北方装備部長）陸将補・松原泰孝

海上自衛隊

▽呉総監（水上艦隊司令官）海将・伍賀祥裕▽水上艦隊司令官（水陸両用戦機雷群司令）海将・池内出▽潜水艦隊司令官（海幕装備計画部長）海将・星直也▽中病副院長（海自病院長）海将補・澤村岳人▽防衛装備庁長官房装備官（潜水艦隊司令官）海将・竹中信行▽海幕装備計画部長（開発隊群司令）海将補・木下治信▽海幕監察官（呉監防衛部長）海将補・新妻嗣札▽海幕首席衛生官（潜医実司令）海将補・吉井秀彦▽自艦隊幕僚長（海幕監察官）海将補・今野泰樹▽水陸両用戦機雷群司令（自艦隊幕僚長）海将補・佐藤正博▽開発隊群司令（防衛装備庁艦船調達官）海将補・長通伸幸▽潜医実司令（横須賀病院副院長兼企画室長）海将補・熊野勲▽海幕首席衛生官）海将補・久保勝裕▽中方幕僚副長（1師団幕僚長）陸将補・村上輝高▽西方幕僚長兼健軍駐司令（統合作戦司令部作戦部長）陸将補・北島一▽6師団副師団長兼神町駐司令（西方混団長兼久留米駐司令）陸将補・山田篤▽12旅団長（中方幕僚長兼伊丹駐司令）陸将補・相園和宏▽1空挺団長兼習志野駐司令（東方幕僚副長）陸将補・濱田剛▽1施団長兼古河駐司令（教訓研総合企画課長）陸将補・奥和昌▽高射校長兼下志津駐司令（6師団副師団長兼神町駐司令）陸将補・貴島康二▽シ通・サイバー校長兼久里浜駐司令（陸上総隊後運部長）陸将補・奈良一志▽補本副本部長（東方幕僚長兼朝霞駐司令）陸将補・坂田裕樹▽体校長（中方幕僚副長）陸将補・槁本賦▽防衛装備庁調達総括官（東北方装備部長）陸将補・松原泰孝

航空自衛隊

▽航空支援集団司令官（北空司令官）空将・船倉慶太▽北空司令官（幹校長）空将・倉本昌弘▽幹校長（支援集団副司令官）空将・佐川詳二▽防大防衛学教育学群長（統幕人教課長）空将補・井上利光▽統合作戦司令部作戦部長（幹校航空研究センター長）空将補・世良達裕▽空幕運支・情報部長（中空副司令官）空将補・松浦知寛▽空幕装備計画部長（開実集団装備開発官兼空幕防衛部）空将補・菅井裕之▽総隊防衛部長（8空団司令兼築城基司令）空将補・小黒正隆▽中空副司令官（1空団司令兼浜松基司令）空将補・鈴木大▽8空団司令兼築城基司令（防大防衛学教育学群長）空将補・中谷大輔▽支援集団副司令官（空幕装備計画部長）空将補・藤永国博▽航空教育集団幕僚長（空幕運支・情報部長）空将補・徳重広為智▽1空団司令兼浜松基司令（空幕装備課長）空将補・有本竜彦▽開実集団装備開発官兼空幕防衛部勤務（総隊防衛部長）空将補・上村博之▽幹校航空研究センター長（南西高射群司令）空将補・林育正▽航空支援集団司令官）空将・安藤忠司▽（航空教育集団司令部幕僚長）空将補・熊谷三郎

（令和8年8月3日付）

退職

陸上自衛隊

▽（陸上総隊司令官）陸将・小林弘樹▽（第2師団長）陸将・大場剛▽（富士学校長兼富士駐屯地司令）陸将・今村武▽（補給本部長兼十条駐屯地司令）陸将・柿野正和▽（体育学校長）陸将補・江頭豊一▽（中央病院付）陸将補・小原聖勇▽（防衛装備庁調達事業部調達総括官）陸将補・末田毅

海上自衛隊

▽（呉地方総監）海将・松本完▽（中央病院副院長兼診療放射線技師養成所長）海将・小川均▽（防衛装備庁長官房装備官）海将・伊藤秀人

航空自衛隊

▽（航空支援集団司令官）空将・安藤忠司▽（航空教育集団司令部幕僚長）空将補・熊谷三郎

（令和8年8月3日付）

北方領土返還運動総会に参加

総会の様子

7月27日、千代田区神田駿河台にある連合会館で、令和8年度北方領土返還要求運動連絡協議会（北連協）総会が行なわれた。総会には北連協加盟団体約50団体が参加、隊友会事務局からは津上公益係長が参加した。

総会では、まず日本青年団協議会の杉山氏、内閣府北方対策本部の三浦審議官らの挨拶が行なわれた後、令和7年度活動報告と令和8年度運動方針、①日露両国の外交交渉の再開、②国内世論の啓発と喚起、③国会・政府・関係省庁等への働きかけなどを重視して運動していくことが示された。

その後、令和8年大会アピールが日本青年会議所の谷氏により力強く読み上げられた。

休憩後、歯舞群島元島民三世の写真家・山田淳子氏と北連協事務局長・児玉泰子氏の対談が行われ、元島民100人余を撮影した写真集「北方領土・元島民の肖像」製作の過程における苦労などについて紹介があり参加者は熱心に聞き入っていた。

隊友会は北連協の会員として運動に参加する他、毎年2月7日に実施される北方領土返還要求全国大会に参加するとともに、12月には返還要求運動中央アピール行進に参加している。

発煙筒

大陸国家と日本人の生き方

大陸国家の伸長著しく、国力は大いに栄えて経済規模はわが国をはるかに凌駕し、何より軍事力は強大にして、その尊大を支えている。

歴史を顧みても、大陸に強大な国家が現れて、わが国に脅威を及ぼし、あるいは、現に来寇して大いなる損害をもたらしたことは、我等の記憶から消えることはない。それでは、我等としては、大陸に強大な国家が出現したときに、一体どのように対処すべきなのであろうか。その答は、我等の歴史の中に明瞭に存在しているのではないか。

永らく続いた争乱を平定し、にわかに大陸を統一して「隋」が興った。この大帝国の出現に、わが国にあっては、朝野を挙げて対応に苦慮したものと推測するに難くはない。当時の摂政の聖徳太子の出した結論は、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云々」（「隋書東夷伝倭国」）である。大陸国家に対して決して跪くことなく対等であろうとした聖徳太子の志と心意気によって、わが国は、その気概を顕し得たのである。

同時に、大陸国家から冊封を受けることもやめた。大陸国家の属国にはならぬとの固い決意である。「漢委奴国王」、「親魏倭王の卑弥呼」あるいは「倭の五王」は、各々の事情から大陸国家の属国たるを選び取らざるを得なかったのではあるが、聖徳太子の日本には、大陸国家の属国にはならない、あくまで対等であるとの心映えがあったのである。

これは、いわば平時の対応であるが、有事にはどのように処してきたのであろうか。

わが国は、文永の役（1274年）及び弘安の役（1281年）の二度にわたって大陸国家「元」の侵略を受けた。武士たちは十余万の敵を相手に奮闘したのであるが、当時は、鎧、兜、刀、槍、弓矢、馬に至るまで個人装備は全て自弁なのである。要すれば、田畑を売り払ってでも戦備を整えて戦に臨むのである。国内戦であれば、負けた側の領地は勝った側に再配分されるが、対外戦では、たとえ勝ったとしても恩賞に与かれることがないのである。それは十分に分かっていながらも、当時の武士たちは、鎌倉幕府の陣触れに呼応して出陣してきたのである。已むに已まれぬ大和魂と言うべきか。

強大な大陸国家に対しては、決して跪くことなく属国に落ちぶれることなく対等を貫き、万一攻められる時には、損得を顧みず大和魂をもって戦う。日本人はそうやって生きてきたと歴史は教えてくれている。

（常務執行役　川嶋青樹（かわしまたかき））

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員

奥村　直広　様　5千円

陸上自衛隊

小林　弘樹　様　2万円
今村　武　様　2万円
須郷　隆志　様　1万円

航空自衛隊

上嶋　久典　様　1万円
大石　徹郎　様　1万円

（順不同、七月二十七日現在）

2027年 自衛隊統合カレンダー
自衛隊カレンダーの売上部数ナンバーワン！「躍動」

●構成／表紙ともで13枚（カラー写真）　●大きさ／B3判　タテ型

月別写真の例（各月の写真はホームページでご覧いただけます。）

（4月）護衛艦「いせ」の勇姿

（5月）陸自が運用する輸送艦「にほんばれ」

（6月）ブルーインパルスのデルタ・ループ

隊友会会員特別価格
定価1815円（税込）を
1430円（税込総額表示）【送料別】
申込受付中！（10月以降発送）

昭和55年創業 自衛隊OB会社
株式会社 タイユウ・サービス
TEL:03-3266-0961 FAX:03-3266-1983
ホームページ タイユウ・サービス 検索
〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町３番20号 新盛堂ビル７階

引越の見積は 隊友会へ!!

サービスご利用の流れ

① 申 込	ネット申込フォーム（またはFAX申込書）に記入して送信
② 見 積	・依頼会社からの連絡（電話、メール）で見積（下見）調整 ・依頼会社の見積（下見）に応対 ・依頼会社から見積書を受領（メール、文書）
③ 引 越	・契約する引越会社を決めて、契約の有無を会社に連絡 ・引越の実施、引越料金の支払い・領収書の受領
④ 請 求	赴任先の会計担当部署に必要な請求書類を提出 （見積書、領収書、転居費精算機確認書、申立書、証明書類）

ネット申込みが便利です
・いつでもどこでも手軽です
・申込内容がメールで届きます
・引越会社に即日依頼されます
・メールでフォローを受けられます
申込みはこちら
見積申込入口

利用者満足度※ 87.8%
※令和7年度利用者アンケート（回答者 1,509名）より

隊友会が選ばれるワケ
➢ 多数の引越会社からの電話で煩わしい思いをしない
➢ しつこい営業や関係ない商品のあっせんがない
➢ 引越会社から連絡がないときの対応や依頼会社の追加が簡単
➢ OBならではのアドバイスを受けられる など

プライベートの引越しや
隊友会員、ご家族も利用できます

NIPPON EXPRESS　株式会社サカイ引越センター　アート引越センター　ハート引越センター　アリさんマークの引越社　三八五引越センター　離島引越し便
※対応地域に注意してください。

お問い合せ
公益社団法人 隊友会
電　話　080-6248-0298
080-6842-8746
メール　jigyou@taiyukai.or.jp